



育児支援と防災緑地と
平らな歩道の中野を創る会

中野を守り、進める!

よし だ こう いち ろう

吉田康一郎 通信



無所属

(令和8年(2026年)春号)

発行/吉田康一郎事務所 所在地/〒165-0026 東京都中野区新井1-1-16-202 電話/03-5345-5443 FAX/03-5345-5444

サンプラザ・旧区役所の土地は売りません!

現区長は、サンプラザ・旧区役所跡地を民間事業者に売却する事に固執し続け、しかも、なぜか**買取価格を他社より80億円も安く提示した事業者を選定**しました。計画は、低層を複合施設、中高層を分譲タワーマンションにするものでしたが、同跡地は中野駅北口の一等地で、一度手放せば、再取得はほぼ不可能、1800戸以上のマンション分譲により地権者が分散し、合意形成も非常に困難になるため、以後の事業に区の意見を反映させる事も、次の更新時期に再開発を行なう事も、非常に難しくなるのです。

吉田康一郎は、当初から、サンプラザ・旧区役所の区有地の**売却に反対し、区が土地を保持したまま、定期借地方式**等で民間の活力を活かして再開発する事を求めてき

ました。渋谷区役所、豊島区役所の建替えでも使われた手法です。

【吉田康一郎はどの様な再開発を目指すか】

多くの区民の方が「**サンプラザのDNAを継承する**」再開発を望んでいます。また、「サンプラザを残す」事を求める意見も根強いです。私は、この地区に求められる機能は、まず、イベント・コンサート等のホール、会議場、宴会場、ホテル、避難施設等の機能ではないかと考えます。更に、区民の皆様が求める機能、事業者が提案する機能を加えつつ、再開発の手法は、サンプラザの再利用、構造物を一部利用したアダプティブ建築、新規の建築を比較し、費用、工期、内容の点で優れた案を採用してはどうか、と考えます。

中野の問題点
子育て支援

よりの確な子育て支援が必要

中野の出生率も出生数も下がり続けています。

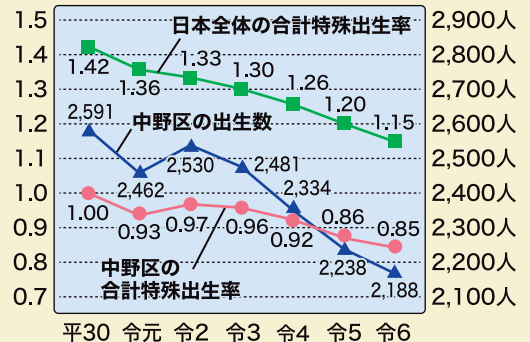
全国最低水準の**出生率**が続いており、**施策の強化が必要**です。現区長の政策は目標が間違っており**成果が上がっていません**。**0歳児保育は定員割れする一方、在宅育児への支援**は就労育児に比べ子供一人当たり**年間222万円少ない**状況です。「預ける」への支援でなく「産み育てる」全体への支援に取り組みます。

中野区独自の**子育て手当** まず0歳、1歳、2歳に**月1万円**

子育て先進区?

吉田康一郎は、区議着任当初から**小中学校の給食費無償化**を区に**求めてきました**。現区長はこれを全く容れませんでした。非実施が中野区と渋谷区だけとなった令和5年、渋谷区が実施に向け取り組み始めると、10月、**年度途中で突如実施**しました。

酒井区政下の、日本全体と中野区の合計特殊出生率、中野区の出生数の推移



都議2期、区議2期、皆様に大変お力を頂きました。元サラリーマン、国会議員政策秘書などの経験と蓄積も最大限に活かし、**完全無所属**の立場で、中野の未来を皆様と守り、次の世代に繋ぐため、これからも全力で取り組んで参ります。